



7～8年前より、外部より先生に来ていただき音楽活動を楽しむプログラムがあります。教室の古川先生には大変お世話になっており、スタッフとしても、こども達の成長の姿を共有させていただける心強い存在となっています。

この「音楽教室」の話聞いて、「まごころに通いたい」と問い合わせをしてくれたSちゃんがいます。Sちゃんは古川先生の大ファン！毎月とても楽しみにしていますが、特に、後半の一人ずつ前に出てピアノを自由に弾く時間が好きで、時にSちゃんがメロディを、古川先生が伴奏をし、音を奏でるシーンでは、鳥肌がたつほどです。



もらったサイン

数か月前に教室を体験し、古川先生の大ファンになったT君。曜日が合わずに期間が開いていましたが、ようやくその日がやってくると、迎えの車の中から「先生にサインをもらおう！」と大はりきり。終了後にきちんとお願いをして書いていただいたサインは、今でも大事にとってあります。

12月には先生のクリスマスコンサート(なんと第40回でした!)がありました。こどもから大人まで色んな方がステージにあがり、「音楽」を通してみんなが一体化しているようなとても素敵なコンサートでした。「音楽」は、うまい下手にこだわらないで、「もっと自由にもっと楽しく」でいいんだ！と、あらためて気づかせていただきました。古川先生、これからも末永くよろしく願いいたします。

デイサービス通信

いただきます・ごちそうさま

デイサービスまごころの昼食は、利用者・スタッフを含め15名程で、一緒にテーブルを囲んでいただきます。利用者の人数が少ないときは、2階の事務職員も加わり一緒に食べることもあります。

今年から、「いただきます・ごちそうさま」のことばかけを利用者さん一人一人にお願いすることにしました。

その時に、何かひと言添えてくださいますの問いかけに応じてくださり、Tさんは「いつもテレビに向かって食事しているので、今日は皆さんと一緒に会食できて幸せです…」Hさんは「今年も良い年でありますように…」皆さんそれぞれに心を込めて、ひと言をおっしゃってくださいました。

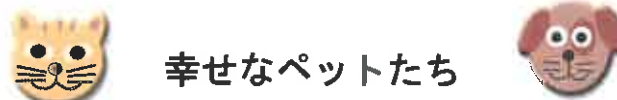
1月の始めには、5円の『お年玉』を賽銭に真清田神社へ初詣出に出かけました。室内レクリエーションでは、福笑い・双六・カルタ等お正月遊びも行い、笑いの中で元気に新年を迎えました。



正月三が日も過ぎ、神社も静かでした



心っれづれ



幸せなペットたち

私の実家には、家の中に犬が2匹・猫が1匹暮らしています。南側の日当たりの良い1部屋がペット部屋になっていて、3匹がいつも仲良く遊んだりひなたぼっこをしたりして、見ているだけで癒されます。又、家の外でも、老犬が1匹ゲージの中に、それと猫が2匹自由に暮らしています。

私や子どもが実家に遊びに行くと、犬達はしっぽを大きく振って嬉しそうに迎えてくれ、猫達はどこからともなく現れて、身体をすりすりしてきます。

3年前に保健所から引き取ってきた老犬は、推定年齢15才ぐらいで、耳も遠く目もあまり見えていません。足もフラフラですが、食欲だけはあり、排便がうまくできない為、母が毎日便を絞りだして下の世話もしてくれています。

家の中の猫のミーちゃんは、昨年まごころの車庫に迷い込んできた猫です。他の犬や猫達も、ほとんど私が拾ったり引き取ったりした子で、我が家の家庭の事情で飼うことが出来なくなり、実家に養子に出した子ばかりです。

これだけ沢山の動物達の世話は本当に大変ですが動物好きな母は、嫌な顔ひとつ見せず愛情をそそいでくれ、本当に感謝しています。母の娘で良かったと幸せに思います。

お給料を頂くと、まず母に餌代を送っています。感謝の手紙を添えて…。

協力会員 石川 洋子



ヘルパーだより

NO.21

昨年11月、高齢のご両親が相次いで入院され、住み慣れたご自宅での一人暮らしが始まったAさんは、もうすぐ50代になる天真爛漫な女性です。

ダウン症で会話もなりたないことが多いのですが、慣れたヘルパーと触れ合うことが今の彼女の楽しみようです。

今は毎日、朝と夕方の1日2回の訪問介護で3食の食事の用意と、週に2回の入浴介助と掃除をまごころと他事業所で行っています。

一日中ずっと家の中で暮らしているAさんは、ほとんど外に出たことがないので、これからの生活の為に、外へ出かけられるように新しい靴を買い、大好きなハンバーガーショップへ行こうと誘ったりもしていますが、警戒しているのかいつも誘いを断られています。

学校などに行くこともなく、生まれてからずっと自宅でご両親に守られてきたAさんですが、4月には施設への入所が決まりました。

本人にとっては、未知の世界なので、住み慣れた家を離れることにとまどいもあるとは思いますが、今まで出会えなかった分、これから沢山の人と出会い、色々な経験をしてもらいたいと思っています。その為に、まず勇気の一步を踏み出すためのお手伝いをしたいと思います。



～インフルエンザ予防～

「飛沫感染」のほかにも、手についたウイルスによる「接触感染」も重要な感染経路です。外から帰ったあと、トイレのあと、食事の前、調理の前など、石けんでの手洗いを習慣にしましょう。

ドアノブ・スイッチなどよく触れるところの消毒や、タオル、食器の共有などに気をつけましょう。